

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放あく後等デイサービスじゅうじかん		
○保護者評価実施期間	令和7年2月10日 ~ 令和7年3月10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	令和7年2月10日 ~ 令和7年3月10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月28日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児の特性に応じて1階・2階を使い分け、安全で柔軟な環境を提供。	バリアフリー化に向けた配慮も十分に行われている。	利用児の特性に応じた環境調整をさらに精緻化するため、ゾーン設定の明確化や活動プログラム化を行い、支援の一貫性と安全性を高める取組を進める。
2	送迎時の対話や連絡帳・LINEでの密な情報共有。	保護者からの意見や要望に柔軟に対応し、共通理解を深めている。	連絡手法の質向上を図るため、短時間で伝わる要点整理やポジティブ報告を徹底し、家庭との連携をより深める仕組みを整備する
3	事業者連絡会や外部研修、社内勉強会への積極的な参加により職員の専門性を高めている。	リモート研修など新しい手法を取り入れ、学びを継続的に実施	外部研修や勉強会の内容を事業所内で共有し、学びを支援に還元する仕組みを構築することで、職員の専門性向上と組織的成长を図る。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者支援の観点から、ペアレントトレーニング等の実施体制を整備。	外部講師や相談支援専門員との連携を検討。	職員一人ひとりの専門性を高め、支援の質の均一化と向上を図る。
2	近隣住民とのイベント交流（ハロウィン、クリスマス等）は実施しているが、今後は地域の福祉団体や学校との連携をさらに拡大する。	年間行事計画に「地域交流プログラム」を設定。	保護者・地域・関係機関との連携をより密にし、地域に根ざした開かれた事業所運営を目指す。
3	外部評価の実施および結果の共有を通して、客観的な視点からの改善を図る。	次年度に第三者評価機関による評価を受け、改善計画に反映する。	安全・安心な環境づくりと、非常時対応体制のさらなる強化を進める。